

おわりに

林 春男 氏（防災科学技術研究所理事長）

今日は、お忙しい中を長時間にわたりご参加いただき、ありがとうございます。首都圏レジリエンスプロジェクトは今年度からスタートし、5年間の予定で進んでいきます。いろいろな意味で首都圏の重要性は言うまでもありませんが、それを本当にレジリエントにするためにはいろいろな主体の協働が必須であるということで、産官学民の連携を実体化することを一つの大きな目的にしています。その実現の場が、このデータ利活用協議会だと理解しています。

6月に発足会があってから、内部の事情もあって皆さんへの情報発信が十分にできなかったところもあるかもしれませんが、今日、無事に第2回が終了し、これ以降、皆さんと一緒に定期的にいろいろな活動をさせていただければと思っています。

今日はデータ利活用協議会の中のCSVがキーワードということで、それを主体的に推進していただく側の、さまざまな仕掛けと、それをどのように利用して自分たちの本来の業務の継続性向上に結びつけていくかというユースケースの、両方のお話を織り交ぜて聞いていただいたと思います。木に竹を継いだ感じもしたかもしれませんが、イノベーションを出す側と、それを利用して事業継続能力を高めたいと思っている側の、それぞれのニーズやシーズをこれからもここで共有していきたいと思っています。次回もぜひお越しいただければとお願いさせていただいて、お礼の言葉にしたいと思います。どうもありがとうございました。